

## 問題

次の文章を読んで、美術館がスマートフォンの活用を推進することに対してどのように考えるか、賛成（推進論）または反対（慎重論）の立場から句読点とも 600 字以上 800 字以内で述べなさい。

かつては撮影禁止が当たり前だったが、最近ではスマートフォンでの撮影を認める美術展が増えている。さらに口コミを狙って、その写真を SNS に投稿することを勧めるところもある。「撮影スポット作りが当たり前のように求められるようになった」と、ある美術館学芸員はいう。

先月、スマホと美術館の関係を考えるシンポジウム「スマホでのぞく美術館-鑑賞体験のゆくえ-」が、東京都内で開かれ、多くの美術関係者が参加した。

パネリストの一人、横浜美術館の学芸員は、「ヌード」展（6月24日まで同館で開催）でロダンの彫刻「接吻せつぶん」の撮影を許可したことについて「鑑賞空間が撮影空間に変質してしまう懸念はあったが、来館者からは好意的な意見が多かった」と報告した。

比較文化論を研究する国立大准教授は「(スマホの活用は) もう後戻りできない。来館者は情報を利用したり、発信したりしながら鑑賞するようになっている。それに対応する美術館のあり方を考える必要がある」と指摘した。

たしかに他の展覧会でも、スマホでメールや SNS を確認している人や、作品や作家のことを調べている人を目にする。スマホに QR コードなどを読み取らせて、音声ガイドとして活用させる美術館もある。

学芸員は「娯楽、教育といった幅広いニーズに対応することを美術館は求められるようになった。撮影許可も含めスマホとどう付き合っていくか、議論中だ」と、現場の状況を説明した。

スマホの小さな画面を通してしか作品を見ずに、撮影が済んだら去ってしまう。そんな来館者を目撃することがある。美術館の一番の魅力は作品とじかに向き合えることだ。発信力を高める必要はあるが、加えて、展覧会や作品への理解を深めるためのスマホ利用の議論が進むことも期待したい。

（読売新聞 2018年8月2日 朝刊）